

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達センターちよだ		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25 (デイサービスちよだ含む)	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活年齢のクラス編成で最大9人の子どもたち集団が、毎日同じ友達、同じ担任の先生で過ごす中で、子どもたちが安心して生活して、あそび、発達していける。	担任だけでなく、複数の職員が関わることで、子ども理解を広げている。また、職員会議を通して、様々なケース検討を行っている。	実践記録を丁寧につくりながら、外部に発信したり、交流する機会を設けて、よりよい療育ができるように研修や学習する機会を設けていく。
2	広い園庭で子どもたちが思う存分あそぶことができる。	園庭での取り組みが固定化されないようにしている。また、遊戯室や各クラスでのあそびの充実を図っている。	園庭でのあそびや、地域での遊びが充実していくために、保育者が実際にあそび、体験できるプログラムを考えていく。
3	保護者と密に懇談をしたり、実際に子どもへの関わりやあそびを楽しむことで、我が子理解を広げていく。	保護者支援プログラムの実施や保護者会の組織、研修をしていく中で、縦と横の関係づくりをしている。	外部の講師もお招きし、最新を情報や正しい情勢を学習し、保護者の方へ提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流、園庭開放の機会を広げていく。気軽に相談したり、あそびに来れる施設づくり	地域交流や園庭開放でも、堤防が近く、園庭であそんでいる子どもたちに声をかけてくれる方は多いけれども、どのような施設かが分かりにくいいため、地域開放と園庭開放を行いながら、地域に根差した施設づくりを行っていきたい。	新しい療育センターづくりも含めて、毎月の土曜日において、園庭開放を行い、誰でも相談がしやすい施設づくりをしていきたい。
2	施設が築60年以上になり、老朽化がひどい	築年数が60年以上になってきている。名古屋市と共に早期に建て替えの懇談を進めていきたい。	2025年度では、新園舎を建築した。そこで、療育グループや保護者研修を主に実施してきた。今後もトイレの改修工事を実施する予定となっている。
3			